

# 統合準備委員会だより



第1号 令和7年 8月28日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

## 「統合準備委員会」とは…

「小諸市立小中学校統合準備委員会」は、保護者代表、学校代表、地域住民代表、教育委員会が必要と認めた皆様と教育委員会担当課により構成される組織です。

令和10年の小中学校統合(義務教育学校開校)に向けて、よりよい教育環境づくりを目指し、新校の教育内容や行事、通学路の安全対策、校名や校章、制服や学用品、統合前の交流活動等、必要事項や課題について調査・整理をし、協議・検討を行います。

また、小諸市教育委員会より付託された事項について協議内容の報告を行います。

## 1. 統合準備委員会の発足に向けた準備会開催(令和7年4月30日)

小諸市学校再編計画に基づき、芦原新校開校までの諸準備を円滑に行うための統合準備委員会(仮称)発足に向けて、様々な準備を進めてきました。

令和7年4月30日には、芦原中学校区4小・中学校の校長先生やPTA正副会長の皆様にお集まりいただき、組織や構成員などについて、意見交換を行いました。その後、5月の委員会発足に向けて、組織づくりを進めました。

4/30 準備会の様子→



## 2. 小諸市が目指す教育や学校像について ~目指す子ども像・学校像・教師像~

準備会では、小諸市が目指す教育とはどのようなものか、そして新たに芦原中学校区にできる学校はどのような学校を目指していくのかを共有しました。

統合準備委員会においてはこれらの教育ビジョンを実現するための学校づくりを大切にしながら、それぞれの内容について検討を進めていくこととなります。

### 小諸市学校教育目標

### 心豊かで、自立(律)する子どもの育成

#### 目指す子ども像・学校像・教師像

##### 子ども

- 自らの願いや課題をもち、その実現や解決に向けて主体的に動き出せる子ども(自立)
- 自分や仲間の「よさ」や「持ち味」を発見し、互いに認め合える子ども(共生)
- 様々な他者との出逢いとかわりの中で、「私」を発見していく子ども(自律)

##### 学校

- 共通の理念や目標のもと「チーム学校」として、個々の職員が協働的に力を発揮する学校
- 子どもと教職員とで共に創り上げていく学校
- 保護者・地域から信頼される学校

##### 教師

- 子どもを主体とし、常に一人一人の子どもに寄り添い、向き合い、共に歩める教師
- 互いに磨き合い、高め合い、学び続ける教師
- 多様性を包み込み、その子の「よさ」に目を向け、生かす教師

### 3. 小諸市が目指す教育や学校像について ～9年間を貫く小諸市の小中一貫教育～

小諸市が目指す教育の実現のため、以下の3つの視点がポイントになります。

「①対話と協働による学びの充実」、「②自治的・創造的な活動の充実」、「③すべての子どもを包み込む居心地のよい学校づくり」です。芦原新校だけではなく、小諸東中学校区を含めた小諸市全体で小中一貫教育の推進に取り組んでいきます。

#### 小中一貫教育推進の視点 <9年間を貫く小諸の小中一貫教育>

1

##### 対話と協働による学びの充実 ～一人も独りにしない学びの実現～

- 子ども同士が小グループ等で学び合う授業への転換（一斉授業からの転換）
- わからないことはグループの中で気軽に聞けるという安心感をベースにした学び
- 聞き合う必要性がある課題の設定（素朴な問いが徐々に課題化してくる道程を踏まえて）

2

##### 自治的・創造的な活動の充実 ～子どもを主体にしながら子どもと教職員が共に創り続ける学校～

- 全教育活動における自治的・創造的な場の発見・発掘・導入
- 上級生の姿から下級生に伝承されていく自治的・創造的な風土の醸成

3

##### 全ての子どもを包み込む居心地のよい学校づくり ～明日も学校に来たいと思える学校～

- 校内支援チームを核に、外部機関と連携して初期対応と継続的支援に当たる体制作り
- 異学年交流の充実等による、学年や学校の垣根を超えた子ども同士のかかわりの充実
- 発達段階に応じた柔軟な体制や指導の工夫（学級編制基準や職員配置の弾力的運用）

資料「小諸市小中一貫教育推進基本方針」(R6.9月策定)より



### 4. 統合準備委員会からのお願い



# 統合準備委員会だより



第2号 令和7年 8月29日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

## 第1回 小諸市立小中学校 統合準備委員会を開催しました

令和7年5月27日(火)午後7時より、小諸市役所3階会議室において「第1回小諸市立小中学校統合準備委員会」を開催しました。この委員会によって、新しい学校の開校に向けた具体的な取組みが始まりました。

統合準備委員会は保護者の代表・学校の代表・地域住民代表の皆さんをはじめ、主任児童委員や幼稚園・保育園の代表の方々、芦原中学校区4小中学校より推薦された地域の方々など20名の委員で構成されています。

第1回統合準備委員会では、山下教育長あいさつの後、設置要綱が確認され、正副委員長や各専門部会の部会長が選任されました。統合に向けた第一歩を踏み出しました。

その後専門部会に分かれて、副部会長を選出したり、検討内容やスケジュール等の確認をしたりしました。それぞれの部会の様子は、今後も「統合準備委員会だより」にて、継続してお知らせしていきます。

統合準備委員会の様子



## 20名の皆様に委嘱をしました

第1回の統合準備委員会では、山下千鶴子教育長のあいさつの後、20名の委員を代表して、坂の上小学校PTA会長の清瀧恵理さんに委嘱状が手渡されました。



### <あいさつ> 小諸市教育委員会 山下 千鶴子 教育長

本日は、第1回小諸市立小中学校統合準備委員会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。本日まで参集の皆様には、小中学校統合に当たって様々なお立場を代表して、準備委員として、解決への一翼を担っていただくこととなりました。本来ですと、おひとりおひとりに委嘱状を手渡すところではございますが、本日は略式にて執り行わせていただきました。

ただいまは、皆様を代表して坂の上小学校PTA会長の清瀧恵理様に委嘱状を交付させていただきました。どうぞ皆様よろしくお願いたします。

小諸市教育委員会では、平成28年から教育のあり方を軸に、学校再編の検討を続けてまいりました。この間、多くの皆様からのご意見、何より子どもたちの育ちを一番に考えて議論を重ねてまいりました。



具体的に申しますと、小諸市の子どもたちひとりひとりに未来を切り開く生きる力を育む、そこでひとりひとりの学びを支えるためには何が重要であるか、どのような学びの場を作ることが最善かを中心に議論を進めてまいりました。そして令和6年9月、「小諸市小中一貫教育ビジョン」が校長会にて作成され、各校で動き出しております。

ビジョンの中心には目指す子ども像として、「自立」自ら課題を持ってその実現や解決に向けて主体的に動き出せる子ども、「共生」ともに生きる、自分や仲間の良さや持ち味を発見して、互いに認め合える子ども、「自律」自分を律する、様々な他者と出会い、関わりの中で私を発見していくことを掲げています。そのために9年間を貫く小諸市の小中一貫教育を視点として、一つ目は「対話と協働の学び」、二つ目は「自治的・創造的な活動の充実」、三つ目は「すべての子どもを包み込む居心地のよい学校づくり」の実現に向かおうというものであります。

もう一つ、生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点を作ることがございます。学校は地域の皆様に支えられて現在に至っており、これまでも現在も、そしてこれからも学校は先生や児童生徒だけでつくるものではありません。「よい学校は地域なくしては成り立たない」とよく言われているとおりであります。先ほどの3視点の3つ目、すべての子どもを包み込む居心地のよい学校づくりのために、地域の方々や民間の力をお借りして、校長会と教育委員会が協力して実現を図ってまいりたいとそうように考えております。

本日はこの後、4部会に分かれての会となります。部会によっては、校名・校章、それから学校周辺の道路、児童生徒の通学関係、PTA 活動に関わる課題も含まれるかと思えます。今後は、教育委員会からの付託事項について協議・検討していただくこととなりますが、今後の推進計画、部会のメンバー構成等、各部会でご協議いただきます。本統合準備委員会は、構成員案にありますとおり、保護者、地域住民、幼稚園保育園関係者、教職員の代表の皆さんによって組織されております。市が広く、様々な視点から検討いただけることを大変嬉しく、心より感謝申し上げます。

(令和7年5月27日 第1回統合準備委員会にて)

## 委員長・部会長が決まりました！

役 職	氏 名	選 出 団 体 等
委員長	栗林 正直	主任児童委員連絡会会長
副委員長	櫻井 浩多	芦原中学校 P T A 会長
総務部会	部会長	宮坂 哲子 千曲小学校長
	副部会長	福島 全子 みすず幼稚園長 (幼児教育推進委員会 幼保小連携部会長)
PTA・地域部会	部会長	井澤 昭 坂の上小学校長
	副部会長	清瀧 恵理 坂の上小学校 P T A 会長
通学部会	部会長	金井 直樹 水明小学校長
	副部会長	大森 豊也 芦原中学校推薦
教育部会	部会長	相原 修 芦原中学校長
	副部会長	安松 大介 芦原中学校 教頭



専門部会の様子

【問い合わせ先】  
 統合準備委員会事務局  
 小諸市教育委員会  
 学校教育課 再編整備係  
 ☎0267-22-1700  
 内線 2326  
 ※このおたよりは、  
 小諸市ホームページ  
 にも掲載しています。

# 統合準備委員会だより

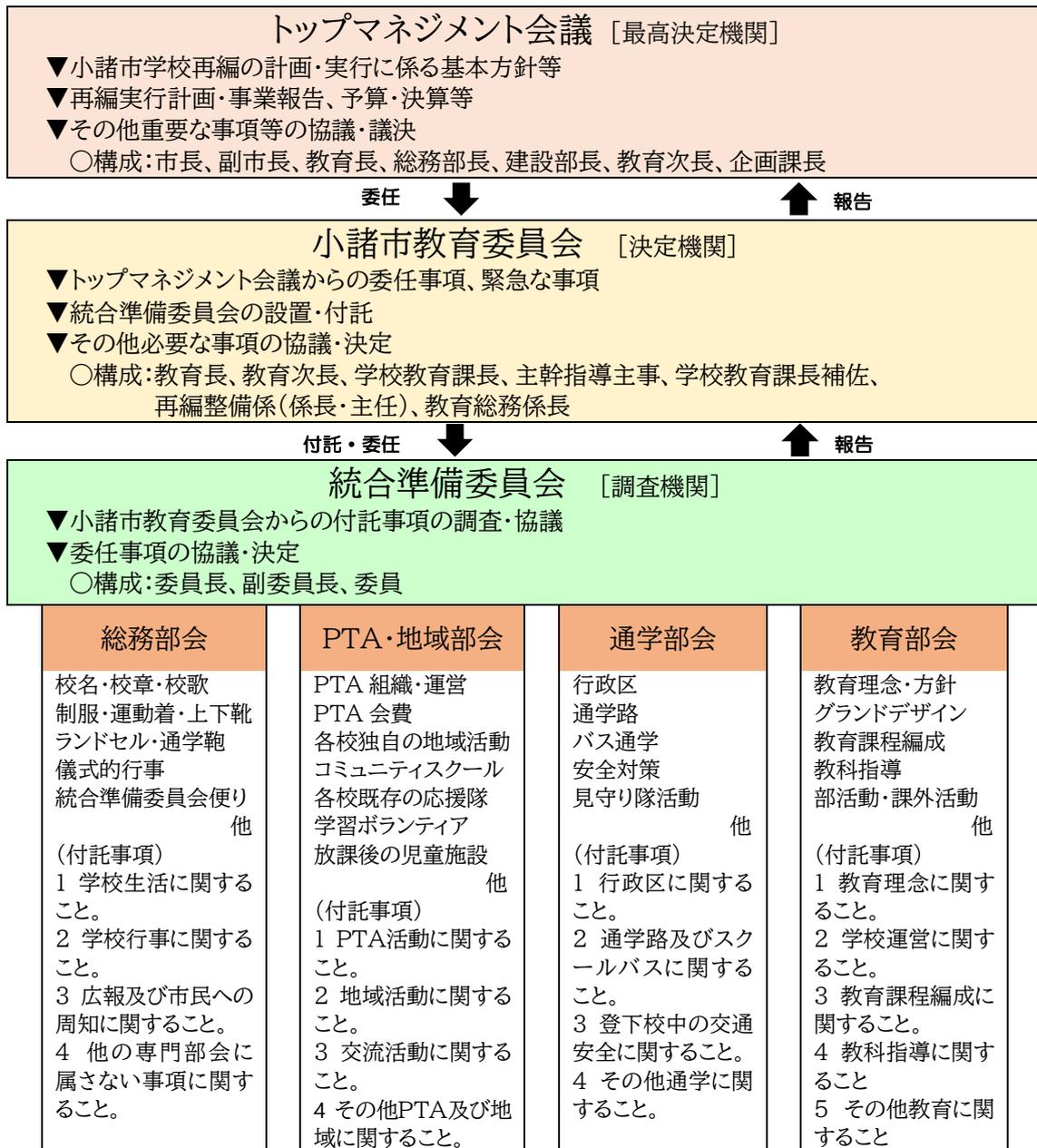


第3号 令和7年9月12日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

## 小諸市統合準備委員会 組織図



準備委員会の下に、「総務部会」「PTA・地域部会」「通学部会」「教育部会」の4つの部会を設置しています。  
なお、教育部会については芦原中学校区4校の先生方を中心に、市の担当者も加わりながら組織しています。

## 委員意見及び質疑応答(要旨のみ抜粋)

※太字は事務局回答

○区の中に新校が誕生することを踏まえると、新町区は通学路の安全性と通学バスの運行の在り方について一番気にかけている。自身が所属する専門部会はPTA・地域部会になっているが、通学部会に対して区や個人的な意見等を伝えたい場合は、どのような方法があるのかご教示願いたい。

⇒ 専門部会の組織案に関しては、事務局にて原則的な委員の割り振りを行ったものであるが、これに縛りをかけることなく、柔軟な対応で進めていきたいと考えている。よって、所属外の専門部会に参加し、考えを伝えることは問題ないと捉えており、そのためにも事務局としては各委員に対し、委員会にて他の部会の進捗状況や部会の開催日程等を共有できるようにしていきたいと考えている。

○専門部会については案として示されたものであるため、それぞれの興味関心があるところにコンバート（転向・変更）することもよいのではないかと思う。各委員の興味関心事項や副会長さんの参加も含めて、委員の皆さんの意見や事務局の考えをお伺いしたい。

⇒ 委員の皆さんにすべての専門部会に入っていただくのが一番であると考えているが、個々の負担を考慮し、エリア等に基づき事務局にて人員の割り振りをさせていただいた。PTA 副会長とは必要に応じてやり取りをさせていただきながら、その都度市よりお声掛けをして参加をお願いしていくこととしたいと考えている。

○資料の中の『今後の進め方』について、閉校記念事業に関する事項がそれぞれの部会に記載されているが、これは4校合同の閉校記念事業を行うという認識でよいのか。

⇒ 一般的な他の自治体のケースを見ると、総務部会が閉校記念行事を担当しているケースが多い。ただし、総務部会における協議事項は多岐にわたるため、閉校記念事業の企画・検討については、それぞれの学校独自ではなく、最低限小諸市として大切にすべき事柄を備えたもの、いわゆる雛形を整えるのみと考えている。

ただし、記念事業に関しては、それぞれの学校における地域性や地域の皆さんの思い、学校の伝統・文化を踏まえながら計画していくことが望ましいと考えており、PTAの皆さんに関わっていただくのがよいと考えている。よって、PTA・地域部会のスケジュールを前倒しし、構想を練っていたものを総務部会で整理し、その他の部会の皆さんにお力添えいただく方向で考えている。

この他にも各委員より、各校の周年行事や部会提案資料の作成等に関するご質問がありました。それぞれの立場でお考えいただいている内容についても、委員会内で共有しながら検討を重ねてまいります。



栗林委員長の挨拶



専門部会の様子

【問い合わせ先】  
統合準備委員会事務局  
小諸市教育委員会  
学校教育課 再編整備係  
☎0267-22-1700  
内線 2326  
※このおたよりは、  
小諸市ホームページ  
にも掲載しています。

# 統合準備委員会だより



第4号 令和7年10月7日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

## 各専門部会の協議事項について

5月の第1回小諸市立小中学校統合準備委員会発足後、4つの専門部会ではそれぞれ調査・研究、協議を進めています。6月に開かれました各専門部会の協議事項や進捗状況についてお知らせいたします。

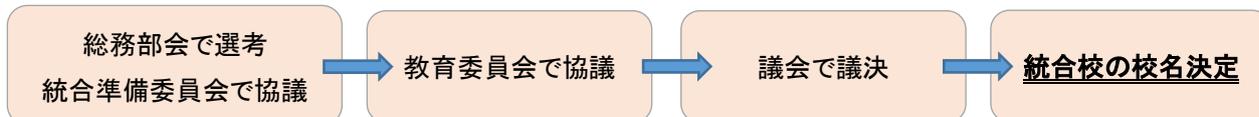
### 総務部会

#### ○校名候補の募集・選定方法について

##### ➤ 募集要項・応募用紙の検討状況

- ・募集要項の作成にあたり、応募資格・応募方法等の条件整理を行っています。
- ・応募に関しては校名の自由記載も可としますが、総務部会・統合準備委員会からの提案として、統合校にふさわしいと思われる校名候補を複数掲げ、皆さんに選択いただけるような応募用紙にしたいと考えています。

##### ➤ 校名選定から決定までの流れ



#### ○その他の検討事項について

- ・校章、校歌の制作や制服・学用品等の選定などについては、他自治体の先行事例等を参考にしながら、今後検討を進めていきます。なお、進捗状況は、統合準備委員会だよりや広報こもろ等で随時お知らせします。

### PTA・地域部会

#### ○各校PTA活動の特色や現状、課題についての共有 ※右図イメージ

##### ➤ 互いの学校の特色や課題の共有

- ・まず4小中学校のPTA活動は、それぞれどのような特色があり、どのような課題を抱えているのかをまとめました。

#### ○芦原新校のPTA組織や会則等に関する意見交換

- ・芦原中学校のPTA組織や会則をベースに、小学校ならではの内容を取り入れていく方向で協議を進めています。

令和7年 6月26日(木) 18:00~19:30 於: 第3会議室

学校名	児童生徒数	現在のPTA活動・各校の特色・よさなど	課題や心配に感じている点など
坂の上小学校	269名	○PTA活動が活発である。 ○役員の関係性はよいと感じている。 ○PTA役員は、全学年から選出。 ○役員の任期は3年。 ○副会長は9名いる。(2~3年目より選出) ○他校に比べて、専門部が多い。 ○滑川市との交流は50年の歴史がある。	●専門部が多いので、負担感もある。 ●交流部やバザー一部の仕事は大変である。 ●コロナ禍を経て、様々な工夫をしている。 今年度はバザーを「坂小フェスティバル」というような形で開催したいと考えている。
水明小学校	258名	○コロナ禍以降、活動を縮小。2部会減らした。 ○水明小学区の支部は、全部で12支部ある。 ○「やかましむら」など、地域のボランティア活動が活発に行われている。 ○役員は児童1名につき1回としていた。	●児童数の少ない支部がある。 ●戸数が5世帯以下は、役員免除。 ●児童数の減少に伴う、地区役員の重複が増加。 ●PTA加入についての確認。
千曲小学校	90名	○PTAスローガン「むりなく、楽しく、あたたかく」 ○会長は6年生保護者。副会長は5年生保護者。 ○支部から支部長1名。校外指導部1名選出。 ○PTAバザーのような行事は行っていない。 ○児童数が少なく、1家庭あたりの負担はあるのではないかと思われるが、PTA会員からの不満の声は、あまり聞かされていない。	●児童数が少ないので、PTAの役員等の兼務については、あたり前に行われている。 ●やはり人数が少ないため、役員選出の難しさを感じている。 ●簡素化の方向性を探っている。(シンプルで、コンパクトなPTA活動)
芦原中学校	374名	○任期は1~3年。再任はさまたげない。 ○コロナ禍以降は、バザーを行っていない。 ○近年、給食部と厚生部とを統合した。 ○PTA活動の雰囲気はよいと感じている。 ○芦中伝統の梅の栽培活動をサポートしている。	●PTA役員の選出については、推薦が多い。 ●人選については、難しさを感じている。 ●小中学校の統合にあたっては、各学校独自のPTA活動の存続について大切に考えたい。

## 通学部会

### ○部会の役割について

・新校開校に向けて、よりよい通学環境づくりを進めていくことを目標に、通学部会として今後検討していかなければならない事項について、部会員間で改めて共有し共通認識を持ちました。

- ① 通学路に関する事
- ② **通学バスの運行に関する事** 
- ③ 登下校中の安全対策に関する事
- ④ その他通学（費用負担等）に関する事

検討が必要な事項の中でも、予算・運転手の確保といった喫緊の課題がある「**通学バス対象者の条件**」を最優先協議事項としています。

### ○参考資料の確認と今後の進め方について

・条件検討の足掛かりとして、①現状のスクールバス等の運行状況（水明、千曲）、②児童数の将来予想、③国が示す適正な通学距離と時間について確認しました。

・条件検討にあたり、まずは現状について理解を深めるべく、統合対象校の児童・生徒及び保護者を対象にアンケートを実施し、通学時に感じている負担感や、不安に思う箇所（心配事）等について調査することとしました。

## 教育部会

教育部会では、芦原新校の教育課程や学校行事、日課表や各種業務に関する事など、直接学校運営に関わる内容を検討しています。基本的には、4校の教職員が担当しています。

### ○総委員会の開催

- 6月24日(火)16:00～ 第1回 教育部会総委員会
- ・芦原中学校区4小中学校の教職員53名が委員となり、全体会を開いた後、委員会ごとに協議をしました。

### ○ワーキンググループ（委員会）の発足

・令和7年度は13委員会が発足し、それぞれ協議を進めています。

### ○正副委員長会の開催

- 7月25日(金)9:00～ 第1回 教育部会正副委員長会
- ・各委員会の1学期活動状況や課題について、2学期の計画などの共有

### ○教育課程や日課、学校行事等を各委員会で検討

・ワーキンググループごとに随時開催。進捗状況については、教職員同士で確認できるように、ネットワーク上のフォルダ内で共有しています。



総委員会での協議(6/24)

## よくある質問



通学部会の様子

**Q.通学方法やスクールバスについては、今後どのように決めていくのですか？**

→スクールバス乗車条件や通学方法は、情報収集や調査を基に通学部会で案を検討しています。公共交通サービスの担当課とも連携しながら、統合準備委員会に諮った上で、教育委員会として方針を決定します。



### 【問い合わせ先】

統合準備委員会事務局  
小諸市教育委員会  
学校教育課 再編整備係  
☎0267-22-1700  
内線 2326  
※このおたよりは、  
小諸市ホームページ  
にも掲載しています。

# 統合準備委員会だより



第5号 令和7年 10月31日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

「避難経路はどうなっているのか」など、様々な視点からご質問やご意見をいただきました。今後の実施設計に生かせる部分は、実現に向けて検討を続けていきます。



市民説明会の様子(7/26)

令和7年7月26日(土)・28日(月)の2日間、芦原新校の基本設計に係る市民説明会を開催しました。この説明会は、芦原新校に係る基本設計に関して、7月時点での進捗状況及び諸室の整備方針をお知らせするとともに、広く市民の皆さんのご意見をお伺いする機会として計画したものです。

説明会では、最初に芦原新校の平面図をもとに、どのような配置や諸室の整備方針かを説明しました。続いて、小諸市が策定した「小諸市小中一貫教育推進基本方針」の実現に向け、どのような設え、工夫をしていくのかを説明しました。ご参加いただいた市民の皆様からは「小中が一緒にになり、体育館などの施設は足りるのか」「保健室は1つでよいのか」「トイレの数は足りているのか」「1学級の児童数はどのくらいを想定しているのか」「空調や風通しは大丈夫なのか」「避難経路はどうなっているのか」など、様々な視点からご質問やご意見をいただきました。今後の実施設計に生かせる部分は、実現に向けて検討を続けていきます。

## 7月は基本設計に係る 市民説明会を開催しました



### 1F平面計画



2025.7.26 現在

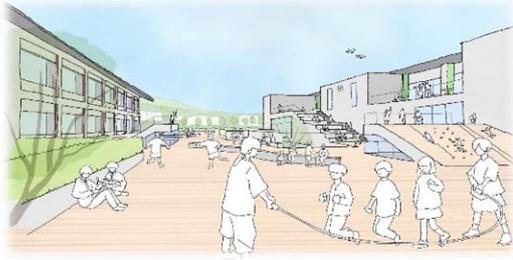
7月の説明会では多くの市民の皆様のご意見やお考え、疑問点などをお聞きできるように感想用紙だけでなく、会場にてオンラインのリアルタイムアンケートも実施しました。

その場で質問に回答した内容もありましたが、時間の都合でお答えできなかったご質問や回答を掲載いたします。

\* 次頁参照

## 市民からのご質問

コモにわ  
(イメージ)



Q.小学1・2年生の教室は、2階の計画ですが、1階に配置することはできないのですか？

→異年齢交流を居ながらにして行えるよう、1階には特別教室や図書館、特別支援学級や地域交流センターを配置しています。1年生は2階となりますが、**昇降口やコモにわ、職員室や保健室に近くなるよう配慮**しています。

Q.2階にある1・2年生の教室への給食の運搬は、どのように考えているのですか？

→现阶段では、1・2年生のみ既存の**エレベーターの使用**を考えています。運搬ワゴンのサイズや担当職員などは現在検討中ですが、大人の手で2階へと運搬し、**フロア内のみ子どもたちが運搬**する方法を考えています。

Q.保健室は、1つでよいのですか？

→義務教育学校となる芦原新校には、小中の養護教諭が2名配置されます。先進校の視察や学校現場のヒアリングより、個室の相談室を新設した上で、「2室別々の保健室より**2名で連携できる保健室の方がよい**」と考え、計画しました。今後も検討を重ねていきます。

Q.授業デザイン、学年の区切り、カリキュラムなどはいつ頃できるのですか？

→学校運営については、芦原中学校区4校の先生方が中心となり、**ワーキンググループにて原案を作成**しています。開校後も子どもたちや地域の皆さんが、学校運営に参画できるような仕組みづくりも併せて考えていきます。



市民説明会の様子 (7/28)

Q.1階に計画されている「生物テラス」は、ビオトープなのですか？

→1階理科室横には、授業で活用する「生物テラス」を設置予定です。**授業内容や教材に合わせて**、学校と相談して決めていきます。ビオトープは児童生徒のアイデアや周年事業等の様々な可能性を含めて検討していきます。

Q.児童生徒数が増えるため、給食室の改修については、どのように考えているのですか？

→倉庫や給食関係の先生方の部屋等を北棟に移し、**給食室内の作業スペースを広げる**予定です。今後、安全面や衛生面等については専門家の助言を基に給食機器の配置を検討し、必要に応じて**増床に関し検討**していきます。

Q.トイレの数や個室数は、足りているのですか？

→芦原新校全体のトイレの数は、**利用者数と男女割合の予測に基づき、推定利用者数を満たす器具数を設置予定**です。子どもたちが集まる1階には新たにトイレを設置したり、便器数を増やしたりしています。また、校舎内には、男女問わず誰でも利用できる多目的トイレを新設する方向で計画を進めています。



こもろん

【問い合わせ先】  
統合準備委員会事務局  
小諸市教育委員会  
学校教育課 再編整備係  
☎0267-22-1700  
内線 2326  
※このおたよりは、  
小諸市ホームページ  
にも掲載しています。

# 統合準備委員会だより



第6号 令和7年11月21日発行

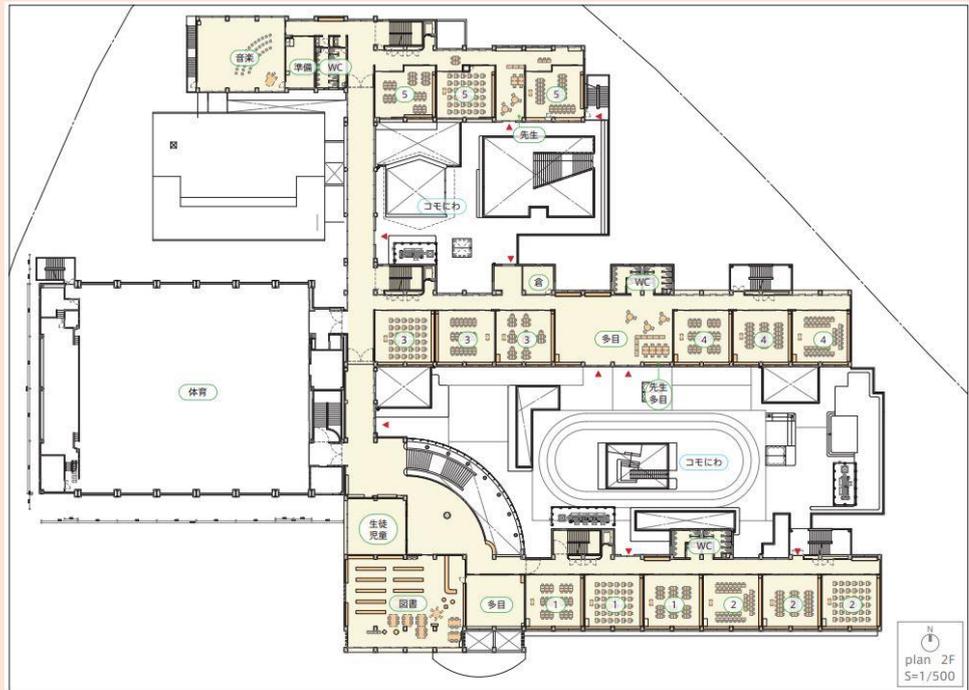
【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

統合準備委員会だより第5号では、南棟・中棟・北棟をつなげて一体的に利用する1F平面計画を紹介しました。

2Fは1～5年生の教室を配置予定です。各棟は増築部分の屋上をテラスとして利用できるように整備し、各棟間を往来することが可能です。他にも2階部分には、第3音楽室や体育館、図書館などがあります。

## 2F平面計画



2025.10.22 現在

## 市民の皆様からのご質問

### 「コモにわ」のイメージ図

【図版提供】渡邊健介建築設計事務所・ヒサナガ



**Q.各学級の適正な人数や学級数について、どのような見通しをもっているのですか？**

→芦原中学校区の児童生徒数の将来推計より、**開校時は各学年3学級**になると思われます。国や県の動向も見据えながら、特に低学年は1学級あたりの児童数を基準より減らせるかどうか、引き続き検討を重ねていきます。

**Q.不登校傾向の子どもたちへの支援は、どのように考えているのですか？**

→どの時間に登校しても安心して校舎内に入れるよう、北校舎入口近くに中間教室を配置しました。現在は中学校のみ市費職員が常駐していますが、**新校では小学生も居場所として利用**することができるよう計画しています。

**Q.クラス替えはありますか。あるとしたら、何年ごとに実施する予定なのですか？(小学校の場合)**

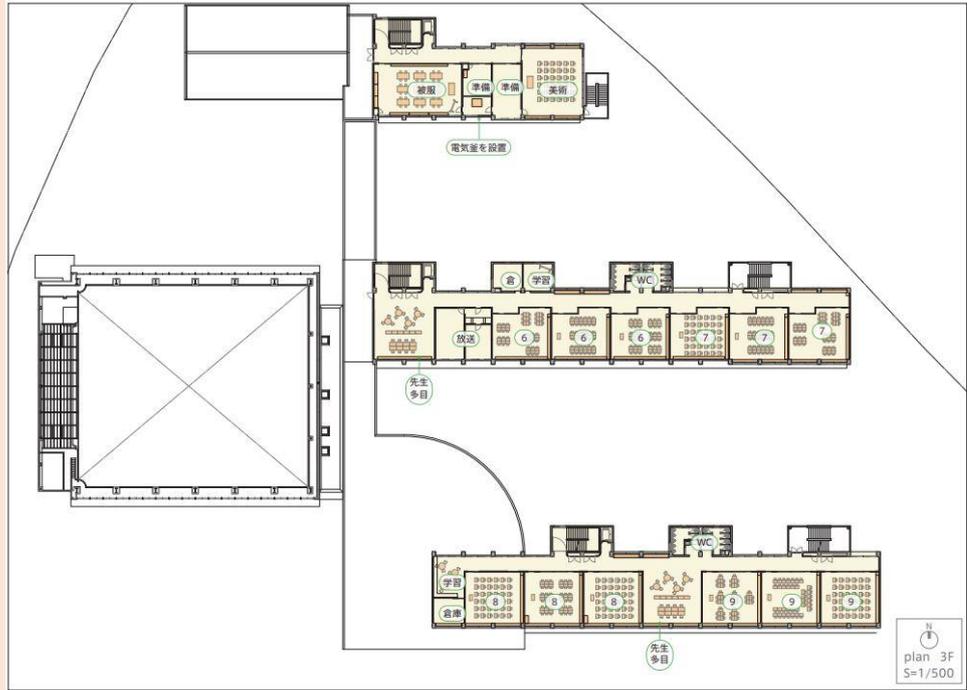
→3校から児童が集まることで、各学年3クラスのスタートとなります。運用面での具体的な検討は教育部会でも検討しています。同規模の小学校や先進校の事例からも、**現段階では2学年ごとのクラス替え**を考えています。

3Fは6～9年生の教室と、北棟には美術室や家庭科室を配置する予定です。

教室間等に設けている「先生多目」とは、生徒同士または生徒と教員とが対話し、つながることができるステーションとして活用したいと考えております。

※前号につづき、第6号でも皆様からのご質問や回答について掲載しています。

### 3F平面計画



2025.10.22 現在

**Q.1Fに特別教室が集中しているため、児童生徒がトイレに集中したり、教室移動の際に混雑したりすることへの対応は考えているのですか？**

→児童生徒の人数や動線、教室の配置などを考慮し、**トイレについては十分な数を確保**できるように設計を進めています。併せて、法に基づいて**避難経路の検討**も進めていきます。

**Q.ICT活用の観点から、すべての教室に電子黒板を設置する予定はあるのですか？**

→ICT活用の充実は、市としても大切に考えています。小諸東中学校区も含めたタブレットの更新や学校再編のタイミング等を考慮しながら、ICT活用の先進地の視察等も行い、**電子黒板の設置も含めた検討**を重ねています。

**Q.「義務教育学校」導入の経緯やよさについての説明がよく分かりません。今後市民が質問したり、意見を述べたりする機会はあるのですか？**

→今後も市役所や各学校で、丁寧に説明する機会を設けていきます。また、組織や団体単位の**出前講座**を通して説明させていただく機会等も大切にしていきたいと考えています。

**Q.統合準備委員会や各専門部会では、どのような内容が、どのように検討されているのですか。現在の状況を知ることはできるのですか？**

→統合準備委員会等で検討された内容については、広報こもろや「統合準備委員会だより」でお知らせしています。また、下記にお問い合わせいただければ**傍聴することも可能**です。

**Q.芦原新校について、保護者への情報発信が少ないと感じます。今後は、どのように情報を発信していくのですか？**

→現在、広報こもろの特集や市ホームページに「統合準備委員会だより」をアップしています。今後は各校とも連携しながら、**スクリレを用いた情報発信**等も検討していきます。



こもろん

【問い合わせ先】  
 統合準備委員会事務局  
 小諸市教育委員会  
 学校教育課 再編整備係  
 ☎0267-22-1700  
 内線 2326  
 ※このおたよりは、  
 小諸市ホームページ  
 にも掲載しています。

# 統合準備委員会だより



第7号 令和7年12月5日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

## 第2回 小諸市立小中学校 統合準備委員会を開催しました

令和7年8月26日(火)午後7時より、小諸市役所3階会議室において「第2回小諸市立小中学校統合準備委員会」を開催しました。第1回統合準備委員会開催後、専門部会にて協議した内容や進捗状況について、各部長より報告がありました。

総務部会からは、校名に係る募集要項や応募用紙案、選考・決定方法に関して、「校名は原則公募とし、複数の校名候補を掲げる様式としていく」など、現段階での状況報告がありました。PTA・地域部会からは、「芦原中学校のPTA組織をベースに、小中の発達段階の違いを考慮した会則にしていく」など、各校のPTA会則をもとにした検討の様子が報告されました。通学部会からは、諸条件の整理・保護者アンケートの検討等の状況が報告され、委員からは「スクールバス運行の方針と併せて、徒歩通学の児童生徒に係る安全対策(歩道、グリーンベルト等の整備)も重要な課題である」との意見が出されました。

教育部会については、先生方が現在取り組んでいる総委員会や正副委員長会での様子や各委員会の検討内容が報告されました。

統合準備委員会での協議や専門部会の様子は、今後も「統合準備委員会だより」にて、継続してお知らせしていきます。



## 各専門部会の協議事項について

6月からは、それぞれの部会ごとに活動をしています。各協議事項について、調査・研究、検討を重ねています。教育部会では、7月に最初の正副委員長会を開催しました。出された要望等も含め、会の様子をお知らせします。

### 教育部会

教育部会では、13のワーキンググループに分かれて芦原新校の学校運営だけでなく、日々の授業づくりや児童会・生徒会の活動、特別支援教育に関すること等の内容についても検討しています。

夏休み中には正副委員長会を開催し、1学期の活動状況や2学期の計画について各委員会の委員長より報告がありました。また、委員長の先生方より「それぞれの委員会に市役所の担当者にも加わって欲しい」「先進校の日課表等の資料を入手できないか」「義務教育学校へ視察に行き、授業や学校生活の様子を見学したい」等の要望も出されました。

#### ○正副委員長会の開催

- 7月25日(金)9:00~11:00 第1回 教育部会正副委員長会



正副委員長会の様子

## 通学部会

### ○第2回 通学部会を開催しました

- ・令和7年6月26日に、第2回目となる通学部会を開催しました。
- ・第2回目の部会では、県下18市における遠距離通学支援(スクールバスの運行や公共交通機関の運賃補助など)の現況を共有したうえで、今後の検討の参考として、国が示す適正な通学範囲の指針をベースに作成したスクールバスの乗車条件案(学校教育課作成)を確認しました。対象学年や対象となる通学距離等の具体的な諸条件については、今後の部会でさらに検討を進めていきます。
- ・また、第1回目の部会で意見が挙がっていた、統合対象校に対する通学に係るアンケート調査の実施に向け、設問の内容を検討しました。部員の皆さんの意見を基に内容を固め、夏休み中の実施を目指し準備を進めることを決定しました。

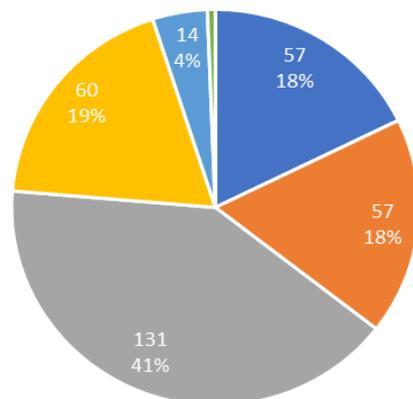
### ○通学に係るアンケート調査について

- ・令和7年8月7日～21日の期間に、統合対象校の全児童・生徒及び保護者の皆様を対象とした「通学に係るアンケート調査」を実施しました。本アンケートは、通学環境(距離、通学方法、時間)の現状や、通学に関する保護者の皆様のお考えなどを把握することを目的として実施したものです。
- ・最終的な回答率は、小学校3校併せて約52%、中学校で約44%でした。その回答からは、「現在の通学環境に対するお子さんの負担感」や、「通学時の安全面での不安」等、机上の検討だけでは知り得ない通学のリアルな実態が見えてきました。
- ・お寄せいただいた回答、ご意見につきましては、今後の通学路やスクールバスの運行に関する検討の際の貴重な資料として活用させていただきます。

### 【アンケートの回答内容の一部】

Q. 現在の通学環境(距離、方法、時間)に対するお子さんの負担感について、該当する項目を選択してください(小学校)。

- A. ■ まったく負担ではない(18%)      ■ 負担は小さい(18%)  
■ 普通(負担は大きくも小さくもない)(41%)  
■ 負担が大きい(19%)      ■ とても負担が大きい(4%)  
■ 未回答(2%)



### よくあるご質問



学びの街角(交流広場)  
☞ 1階昇降口前スペース

Q. 児童館あるいは児童クラブの広さは、十分に確保できているのですか？

→利用者数を適切に把握した上で、**基準を満たす必要な面積を確保**しています。運用にあたっては1～2階の共用スペースを活用し、さらには体育館や校庭、テニスコート西側遊具も共用で利用できるよう計画を進めています。

### 【問い合わせ先】

統合準備委員会事務局  
小諸市教育委員会  
学校教育課 再編整備係  
☎0267-22-1700  
内線 2326  
※このおたよりは、  
小諸市ホームページ  
にも掲載しています。



# 統合準備委員会だより



第8号 令和8年 1月19日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

## 芦原中学校区4小・中学校にて 出前説明会を開催しました

7月に開催しました市民説明会において「市民説明会とは別に、各学校にて保護者や教職員向けの説明会も開催して欲しい」とのご意見をいただき、その声にお応えする機会として、芦原中学校区4小・中学校にて出前説明会を開催しました。

9月30日の水明小学校より11月18日の千曲小学校まで、一人でも多くの方にご参加いただけるようにとPTAの役員会前や参観日などに説明の機会をお願いし、各校のPTAや教職員の皆様にご参加いただくことができました。出前説明会では、新校設計の進捗状況や小諸市が目指す教育の実現に向けた整備方針等について説明いたしました。

参加者からは「工事期間中の学校生活はどうなるのか」「階段やトイレの数などは足りているのか」「給食の運搬はどのようにするのか」などのご質問をいただきました。今回は設計に関する説明が中心でしたが、今後は事業の進捗状況に合わせて、このような説明会を開催していきたいと考えています。

出前説明会の様子やいただききましたご意見やご質問は、今後も「統合準備委員会だより」にてお伝えしていきます。



出前説明会の様子(9/30)

## 各専門部会の協議事項について

8月の第2回小諸市立小中学校統合準備委員会以降も、4つの専門部会ではそれぞれ調査・研究、協議を進めています。教育部会では、10月に正副委員長の先生方の研修会を開催しました。その様子をお知らせいたします。

### 教育部会

10月30日(木)教育部会では、12のワーキンググループの正副委員長の先生方にお集まりいただき、基本設計と目指す教育のあり方について考え合う機会として、研修会を開催しました。

基本設計図案をもとに、「今委員会で検討している教育活動は、このスペースをこんな風に活用したらどうか」など、ワークショップ形式で意見交換を行いました。当日はファシリテーターとして、静岡大学の島田桂吾准教授をお招きし、指導や助言をいただきました。

参加した先生方からは、「『学びの街角』では、地域の方々をお呼びして、アウトプットやフィードバック等の表現活動に生かしたらどうか」などの意見や、「ポッケ」の使い方のアイデアなどが出されました。



ワークショップの様子(10/30)

## 保護者からのご質問

出前説明会の会場では、いただいた質問にその場でお答えした内容もありましたが、時間の都合でお答えできなかったご質問、感想記入用紙にお書きいただいたご質問等とその回答について、本号に掲載いたします。※下記参照

**Q.小中が一緒になるとのことですが、体育館は今のまま、増やす予定はないのですか？**

→現在2階に大体育館、1階に小体育館と柔剣道場があります。柔剣道場を板張りにして、**新校では第1～第3体育館**として使用する予定です。これら3つの体育館を使い分け、小中学校の授業や各種行事等を行う予定です。

**Q.基本設計では、特別支援学級が小中隣りに配置されていますが、何かメリットはあるのですか？**

→デッキを挟んで、小中のエリア分けを配慮しています。メリットは、**小中の交流や共同で活動ができる**ことや担当職員の連携もスムーズに行えることです。先進校の視察等から、保健室が近くにある場所に配置しました。

**Q.校名について、今後どのような流れで決められていくのか？スケジュールも含めて知りたいです。**

→**1/9(金)～2/27(金)まで**、応募用紙や応募フォームにて**校名案を募集**します。市民ならどなたでも応募可能です。応募方法等の詳細は、広報こもろか市HPをご覧ください。ご不明な点は下記へお問い合わせください。

**Q.「跡地利用」のワークショップに参加できなかったのですが、在校生や保護者の意見も取り入れてほしい。今後アンケート等の予定はあるのか？**

→ワークショップは終了しましたが、**2/4まで市立図書館にブースを設置**してあります。市の財政課が担当していますが、両課で連携しながら情報共有・情報発信をしていきます。

**Q.学年の教室配置は、今後も変わらない計画か？**

→小中のつながりを大切にして6年生と7年生を同じフロアーにしています。子どもの成長に合わせ、学年のまとまりを大事にしながら校舎の中を9年間かけて移動していきます。児童生徒数によって配置変更もありますが、基本的には**現在の配置案をベース**にします。

**Q.小中の子どもが同じ校舎を使用する場合、水道やイスの高さ等体格差への配慮はあるのか？**

→**理科室**については、小中分けて4部屋計画しています。イスや机の高さも**小学生用と中学生用**を用意します。手洗い場等は、上記のように教室配置が変わる場合もありますので共通にし、踏み台等での対応を考えています。



出前説明会の様子(11/18)

**Q.出前説明会では、学校の先生方も基本設計の状況をまだ十分理解できていないように感じたのですが、どのように説明をしているのですか？**

→市内8校の**教職員が集う研修会**にてR6は小諸市が目指す教育について、R7はそれを実現する基本設計について説明しました。今後も継続して各校の先生方にお伝えしていきます。



こもろん

【問い合わせ先】  
統合準備委員会事務局  
小諸市教育委員会  
学校教育課 再編整備係  
☎0267-22-1700  
内線 2326  
※このおたよりは、  
小諸市ホームページ  
にも掲載しています。

# 統合準備委員会だより



第9号

令和8年 1月 23日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

## 第3回 小諸市立小中学校 統合準備委員会を開催しました

令和7年 11月 28日(金)午後7時より、小諸市役所3階会議室において「第3回小諸市立小中学校統合準備委員会」を開催しました。はじめに、教育委員会より仮設校舎の整備方針について報告があった後、第2回統合準備委員会開催以降、それぞれの専門部会より協議した内容の報告、さらには2つの専門部会からの提案について、統合準備委員会にて審議を行いました。

【総務部会】…校名募集様式については、校名案とその理由を複数挙げた上で、自由記述も可としたい。自由記述については、校名案に込めた思いや願いに関して心に響くものがあれば、少数であっても採用を検討したい。その他、応募方法について。

【PTA・地域部会】…統合4校の保護者に対し、PTA・地域部会における組織案に関して意向を伺う。調査用紙には部会からの「提言」を示し、検討の経緯、重視した点を明記し、意見を徴取する。その上で、PTA組織や会則等を検討していく。両案とも委員会の審議を経て、委員の了承が得られたため、原案のとおり進めていくこととしました。

今後、統合準備委員会での協議や専門部会の様子は、「統合準備委員会だより」にて、継続してお知らせしていきます。



統合準備委員会の様子

## 各専門部会の協議事項について

第2回小諸市立小中学校統合準備委員会後、4つの専門部会ではそれぞれ調査・研究、協議を進めています。前回の統合準備委員会以降に開かれました、各専門部会の協議事項や進捗状況についてお知らせいたします。

### PTA・地域部会

#### 【PTA・地域部会からの提言】

芦原新校の保護者組織のあり方について、PTA部会は次の2点を提言いたします。

- (1) 芦原新校の保護者組織は現在の芦原中学校PTA組織を土台とし、1年生～6年生の保護者組織については、現3小学校のPTA組織の様子や実情等をふまえて、現芦原中学校PTA組織に統合する形で再編成する。
- (2) 具体的な活動内容や組織については、保護者ができるだけ無理なく参加できるよう、新校開校後も、その都度見直しを行っていく。

○芦原新校保護者組織のあり方に関するアンケート

URL: <https://forms.gle/hJijnXkreWSM9iN77>

【QRコードはコチラ】⇒



## ●小諸市立小中学校統合準備委員会委員

■教育部会の各ワーキンググループ委員長が決まり、統合準備委員会委員の変更もありましたのでお知らせします。

### 総務部会

氏名	選出区分	備考
宮坂 哲子	千曲小学校長	部会長
福島 全子	幼児教育推進委員会	副部会長
	幼保小連携部会長 みすず幼稚園長	
栗林 正直	主任児童委員連絡会会長	
小林 孝治	東部地区会長	
依田 勝彦	中部地区会長	
倉島 綾子	水明小学校推薦	
荻原 広光	千曲小学校教頭	

### PTA・地域部会

氏名	選出区分	備考
井澤 昭	坂の上小学校長	部会長
清滝 恵理	坂の上小 PTA 会長	副部会長
清水 佳織	千曲小 PTA 会長	
小林隆一郎	西部地区会長	
佐藤 正人	大里地区会長	
依田 隆司	坂の上小学校推薦	
掛川 敏彦	千曲小学校推薦	
花岡 桐子	水明小 PTA 副会長	
石山れいか	坂の上小学校教頭	

### 通学部会

氏名	選出区分	備考
金井 直樹	水明小学校長	部会長
大森 豊也	芦原中学校推薦	副部会長
松尾 良太	水明小 PTA 会長	
櫻井 浩多	芦原中 PTA 会長	
柳沢 好久	西小諸地区会長	
清水 誠	川辺地区会長	
望月早矢香	坂の上小 PTA 副会長	
前島ひとみ	千曲小 PTA 副会長	
福澤 善史	水明小学校教頭	

### 教育部会

相原 修	部会長	芦原中校長
安松 大介	副部会長	芦原中教頭
高橋 和之	教務主任委員会委員長	水明小
須江 直喜	対話と協働の学び委員長	芦原中
佐藤 仁哉	自治創造的な活動委員長	芦原中
中山 敦啓	すべての子どもを包み込む 学校づくり委員会委員長	芦原中
柳澤 未織	養護委員会委員長	芦原中
本田名帆子	栄養教諭・栄養士委員会委員長	芦原中
里見由佳理	事務委員会委員長	芦原中
宮崎 泰弘	特支 Co 委員会委員長	坂の上小
八巻和香子	図書館委員会委員長	芦原中

#### 義務教育学校に係る 意見交換会

R6/9月に策定した『小中一貫教育推進基本方針』の策定に関し、義務教育学校に係る検討経過をお知らせし、市民の皆さんとの対話を深めるため、下記のとおり意見交換会を開催します。

- 日時 2/7(土) 13:30～16:00
- 場所 市役所3階 第1・2会議室
- 内容
  - ・義務教育学校に関する検討経緯について
  - ・意見交換 ほか

#### 基本設計・実施設計に関する市民懇談会 (第5回ワークショップ)

芦原中学校区義務教育学校の整備に関し、基本設計の最終案を公表するとともに、実施設計の進捗状況をお知らせし、広く市民の皆さんの意見をお伺いする機会として、下記のとおり市民懇談会を開催します。大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。

- 日時 2/22(日) 14:00～15:30
- 場所 ステラホール
- 内容
  - ・基本設計最終案の公表
  - ・実施設計における進捗状況の説明
  - ・意見交換 ほか

※意見交換会・市民懇談会ともに事前申込不要

統合準備委員会では、ペアで意見交換を行いました。



【問い合わせ先】 統合準備委員会事務局  
小諸市教育委員会 学校教育課 再編整備係  
☎0267-22-1700 内線 2326  
※このおたよりは、小諸市ホームページにも掲載しています。

# 統合準備委員会だより



第10号

令和8年 1月 26日発行

【編集・発行】小諸市立小中学校統合準備委員会

このおたよりは、小諸市芦原中学校区の小学校3校・中学校1校の統合校(芦原新校)に関わる「小諸市立小中学校統合準備委員会」等での検討内容や進捗状況について、市民の皆さんにお知らせするために発行しています。

## 教育部会

### 太田市立北の杜学園(群馬県)を視察しました

令和6年12月に「対話協働の学び委員会」の先生方と、太田市立北の杜学園を視察しました。北の杜学園は、太田東小学校、蕪川西小学校、北中学校の3校が統合し、既存の中学校敷地内に新校舎を増築して、令和3年に開校した児童生徒数約780名の義務教育学校です。9年間の学びを支える施設見学だけでなく、学校づくりやカリキュラムマネジメント、開校に向けた取組等について、校長先生や市の担当者からご説明いただきました。

北の杜ホール(集会スペース)



美術室廊下を作品展示スペースに



清掃ロッカーは全て廊下にまとめる



旧小学校の記念の品々のギャラリー



#### 【視察した先生方の感想より】

- 職員同士で気軽に授業を見合い語り合う、子どもに何を託すのかを話し合う等、先生方が学校教育目標に向かって学校を創り上げている点が印象に残り、私自身の活力にもなりました。
- 子どもたちが自ら学びを創り上げていくことができるように、学校組織がマネジメントされており、本校含め小諸市の子どもたちもこのような学びができたらと感じました。
- 異年齢交流や発達段階に合わせた交流活動について、今後の学校づくりの参考になりました。
- 新しい学校が持つ可能性や魅力を実感するとともに、自分自身の教育観や実践を見つめ直す貴重な機会となりました。視察での学びを新校づくりに活かしていきたいと思えます。

# 芦原中学校区 統合校の 校名案を募集します

小諸市教育委員会では、芦原中学校・坂の上小学校・水明小学校・千曲小学校4校を再編し、令和10年4月の「義務教育学校」の開校に向けて準備を進めています。そこで、新たな統合校の開校にあたり、子どもたちが母校に誇りを持ち、地域の皆さんから親しまれ、長く愛される校名となるよう、下記募集要項のとおり校名案を募集します。

☎ 学校教育課 再編整備係

## 【校名案の候補】

- 1 小諸市立 芦原小中学校
- 2 小諸市立 小諸西小中学校
- 3 小諸市立

1・2の校名案については、小中学校統合準備委員会・総務部会にて挙げられたものです。推荐理由等は市HPからご覧ください。



▶募集期間 R8/1/9(金)～2/27(金)【必着】

▶応募資格 市民(市内8校の小中学生を含む) / 統合4校に在学の児童生徒の保護者・教職員 / 統合4校の卒業生 / 市出身者

▶応募内容・記入事項

専用の「応募フォーム」または「応募用紙」により応募いただけます。校名案候補のうち、よいと思う校名案を1つ選んでください。3を選んだ場合は、ご自身で考えた校名案及びふりがなを自由に記入してください。また、その校名案がよいと思う理由(新しい学校への想い・願い等)を必ず記入してください。なお、応募多数の校名案が選定されるとは限りません。応募はおひとり1点までとし、再編により閉校となる予定の小学校(坂の上小学校・水明小学校・千曲小学校)と同一の名称は使用しないこととします。

▶応募方法 以下のいずれかの方法によりご応募ください。

① 応募フォームから応募(右の二次元コードを読み取ってください)

② 小諸市教育委員会へ応募用紙を持参・郵送

〒384-8501 小諸市相生町3-3-3 小諸市教育委員会事務局 学校教育課 宛て

※小学生の方は各学校を通じ配布する「児童用」の応募フォームまたは応募用紙により応募してください。

▶選定方法

応募いただいた校名案は、小中学校統合準備委員会内に設置の総務部会で選考を行い、統合準備委員会での協議後、教育委員会へ校名案候補を報告します。教育委員会での協議後、市議会での必要な手続きを経て、新たな統合校の校名が正式に決定されます。



◀応募フォームはこちら